

事業目的

「線維症」という指定難病に、21世紀にも有効な治療薬がない。普段、身体の中に傷ができると、通常は間隙を埋めている基質（マトリックス; 代表者はコラーゲン線維）が新しく作られセメント作用を発揮する。どこの傷にも作用する素晴らしい仕組みだ。しかし、このシステムは稀に間違いを生じ、マトリックスの産生が停止しない。やがて、過剰に沈着し、結果、正常な細胞を排除する。この結果が線維症で、肺線維症（指定難病84）と肝硬変が特によく知られ、どちらも柔らかい元の組織には戻らない。

細胞とマトリックスの会話を我々はひたすら研究、炎上の消火に作った抗体が線維化を和らげることを見出した。これを医薬として、ベッドサイドに届ける-----目指す事業である。

事業内容

本研究開発では、細胞の表面にあるマトリックス受容体「インテグリン $\alpha 8 \beta 1$ 」の作用を抑制する抗体の医薬としての開発を加速させる。

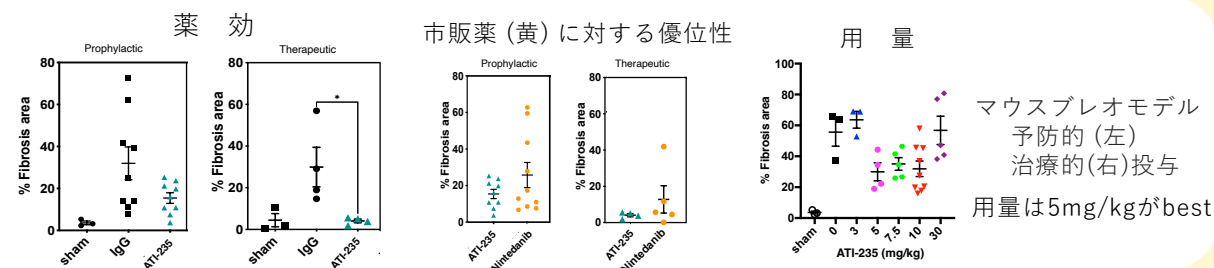
具体的には、下記のPoCをクリアする。

PoC ----- 先行医薬（緩和剤）の薬効を上回り、世が必要とする理由を示す。

PoC ----- 投与量を減らし、開始時期を遅らせても、効果が見られることを示す。

PoC ----- 世界の市場を調査し、事業的優位性、魅力、を明らかにする。

事業成果



事業者情報

株式会社 抗体医学研究所
(広島大学発スタートアップ)

所在地：広島県広島市

設立年：2022年

代表：横崎恭之

HP <https://www.integrin.jp>



概要図等

